

◆ 博物館だより

◇平成24年度関西大学博物館 開館日数・入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	26	25	26	25	7	17	26	25	19	19	16	23	254
入館者数	2,115	1,933	983	315	2,420	687	812	987	1,760	198	119	493	12,822

◇4月1日から5月19日まで、関西大学大正癸丑蘭亭会百周年記念行事実行委員会（代表 陶徳民 文学部教授）による「大正癸丑蘭亭会百周年記念—近代日本における翰墨の盛典—」を開催し、2,773名にご来場いただきました。

◇博物館企画展として「名刀にける 刀匠 河内國平作刀展」を6月3日から7月20日まで開催しました。その関連トークショーでは、6月30日に作家・エッセイストの阿川佐和子氏、7月13日に漫画家の日笠優氏が、それぞれ河内國平氏と対談して刀匠の魅力に迫りました。会期中2,597名にご覧いただきました。ご来館頂きました方々に厚くお礼申し上げます。



◇今年で第10回目となる博物館なんでも相談会を7月23日と28日に実施しました。23日は万葉書作家の鈴木葩光氏指導による一日書道教室「筆とあそぼう」、28日は丹波市、兵庫県立氷上西高校、福井県、大阪府立弥生文化博物館、紀伊國屋書店、本学鉄道研究会の協力を得て、恒例の体験型イベントを実施し、2日間で953名の皆さんに楽しんでいただきました。



◇文化庁の補助金を得て、かんさい・大学ミュージアムネットワークを立ち上げました。今年度は、日常的に接することが難しい楽器や刀剣、個人コレクション資料などについて共同で研修する場を設け、大学ミュージアムや研究機関等に所属する教員や学芸職員、学生等の専門性や能力を高めるとともに、地域の方々へも広く公開し、文化遺産の理解とその継承に向けた事業を行います。北大阪ミュージアム・ネットワークは、11月3日・4日に国立民族学博物館を会場として北大阪ミュージアムメッセを開催します。ぜひご来場ください。

◇本年度上半期に本学校友の河内國平様から鍛刀資料18点、遠山慶一様から印譜1点、河上邦彦様から法隆寺扇子等39点、さらに篤志家の植田兼司様から黄檗宗和気山邦福寺什器仏具おりん1点の寄贈がありました。今後、博物館で充分活用していきたいと考えています。

・ ・ ・ 編集後記 ・ ・ ・

表紙は、古代エジプトの古印（スカラベ、本山コレクションMY-W3036）です。スカラベとは、石・貴石・ガラス・陶土などを素材とし、甲虫の形に作られた護符で、裏面（腹面）に文字や図柄・模様・文章などが彫られているものが多く、しばしば印章としても用いられました。右端のスカラベの裏面にはワニと人物が刻まれ、ワニを化身とする造化の神セベクの守護を願う護符と見られます。

博物館実習展（11月10日～15日）の期間を除き、7月29日から平成26年3月末まで改装工事のため、休館します。第1展示室は大型展示ケースを設置した企画展示室となり、村野藤吾が設計した円形の第2展示室は考古資料の常設展示室となります。平成26年4月、博物館開館20周年と図書館創設100周年を記念した展示会でリニューアルオープンします。

